

EU では減税とインセンティブにより、低 CO2排出車が増加

4月12日の EEA (European Environment Agency) の報告書によると、EU の消費者が低 CO2排出車を購入するのを助けるために、様々な税金、助成金などのインセンティブが使用され、明らかに低 CO2排出車のハイブリッド車や電気自動車 (以下、EV) の乗用車が増加していると発表された。

特に EV に対するインセンティブを提供する国の数は増え続けている。同時に早く新しい対策が講じられなければ、トラックやバスからの CO2排出量はさらに増加すると予想されている。

ポーランドを除く欧州連合 (EU) 諸国では低 CO2排出車普及に何らかのインセンティブを採用しており、新しい乗用車の平均 CO2排出量が着実に低下している。すべての EU、EEA 加盟国でノルウェーは2016年に販売された新型乗用車からの平均 CO2排出量が最も低かった。これは低 CO2排出車の使用を促進するための税金とインセンティブを拡大した効果によるものである。

欧州連合 (EU) 加盟国のそれぞれのインセンティブがどのように低炭素排出車の普及に影響したかの分析には、フランス、ドイツ、ギリシャ、アイルランド、オランダ等の税制とインセンティブが打ち出され様々なアプローチを探る7つのケーススタディが含まれている。この調査によれば、消費者は、目標とされたインセンティブが十分にあるところで、低 CO2排出車を容易に購入することが分かった。

輸送部門からの CO2排出量を削減することは、EU にとって重要な優先事項である。近年、EU における新型乗用車の平均 CO2排出量は2001年以来約30%減少しているが、EU の2021年目標である95gCO2を達成するためには、平均 CO2排出量をさらに20%削減する必要がある。

ハイブリッド車と EV の販売促進

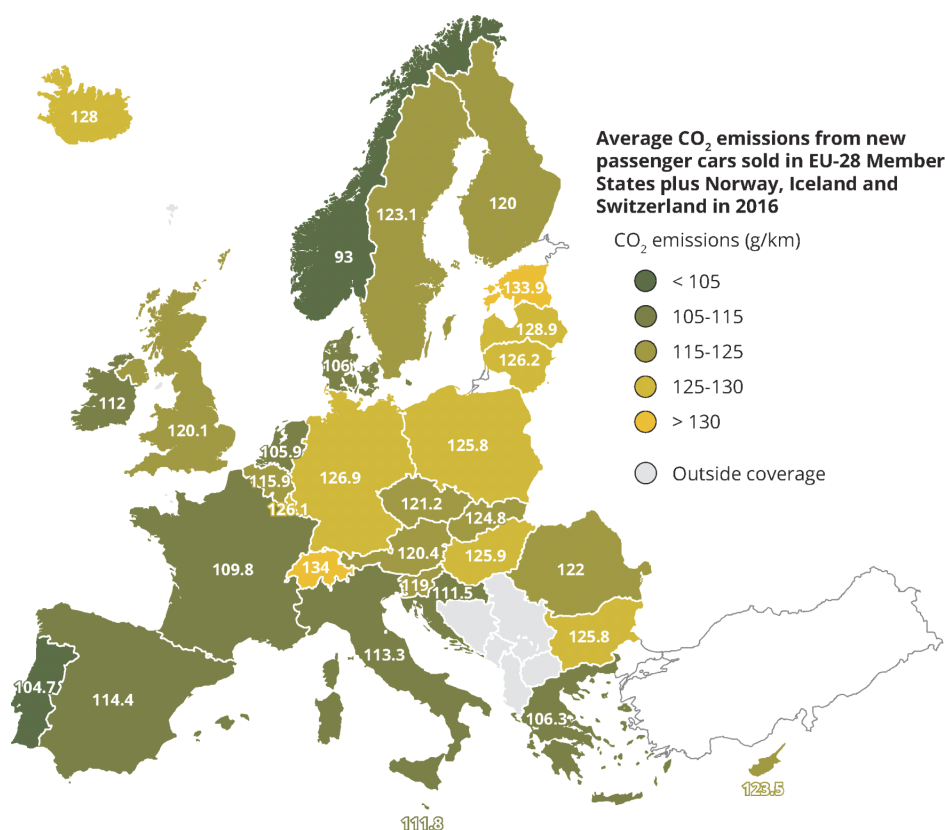
ハイブリッド車と EV の使用を促進するインセンティブを提供する国の数は、2010年から2016年にかけて大幅に増加した。ポーランドを除くすべての国で、ハイブリッド車と EV インセンティブがある。ヨーロッパではノルウェーの平均低排出ガスレベルと、2016年に普及した EV の割合が高いことを反映して、ノルウェーが EV を促進するインセンティブの効果が最も高いと言える。レポートでは、EV を促進するために、EV の使用に関する信頼性やフル充電設備や走行距離に関する情報は人々の懸念を安心させるために必要だったと、述べている。

この調査では2016年にEVの充電施設をさらに増やすための具体的なインセンティブは、11カ国に限られている。

トラック、バスからの排出量の増加

トラック、バス、コーチは輸送部門からのCO₂排出量の約4分の1を占めており、排出量削減のための新たな措置が採られなければCO₂は、さらに増加すると予想されている。

大型車は現在、道路輸送車のCO₂排出量の約27%を占めており、報告では欧州の大型車からのCO₂排出量は、1990年以来25%増加している。排出抑制の追加的な措置を講じなければ、2010年と比較して2030年にはさらに10%は、上昇するだろうと予想されている。



図、EU 28カ国とノルウェー、アイスランド、スイスの新車の平均CO₂排出

出所：<https://www.eea.europa.eu/highlights/tax-breaks-and-incentives-make>

現在まで、EUには乗用車と異なり、大型車両からの排出ガスや燃料消費量を監視し報告する義務的な手続きは存在していない。しかし2019年に新たな監視・報告システムが発効する予定である。これは、EU市場でより効率的な大型車の普及促進に役立つと思われる。今年後半には、新登録の大型車のCO₂排出制限を強制するEU委員会の提案が予定されている。日本のCO₂排出量規制とEV普及の遅れが気になるところである。(了)